

各関係機関の長
各病虫害防除員 殿

宮崎県病虫害防除・肥料検査センター所長

平成26年度病虫害防除情報第11号

カンキツを加害するミカンハダニについて、各地域の発生状況を把握しながら翌年に向けて適切な防除指導をお願いします。

**ミカンハダニの発生が多くなっています。
翌年に向けて、適切な管理に努めましょう。**

1 作物名 カンキツ

2 病虫害名 ミカンハダニ

3 発生状況（経過）

- 1) 11月中旬の巡回調査におけるミカンハダニの発生面積率は72.3%（平年43.6%）で平年比べ多、寄生葉率は14.7%（平年9.3%）で平年に比べやや多の発生であった。
- 2) 発生面積、寄生葉率ともに8月から増加し、11月の調査でも依然として多い傾向が見られることから、越冬世代による翌年の被害が懸念される。

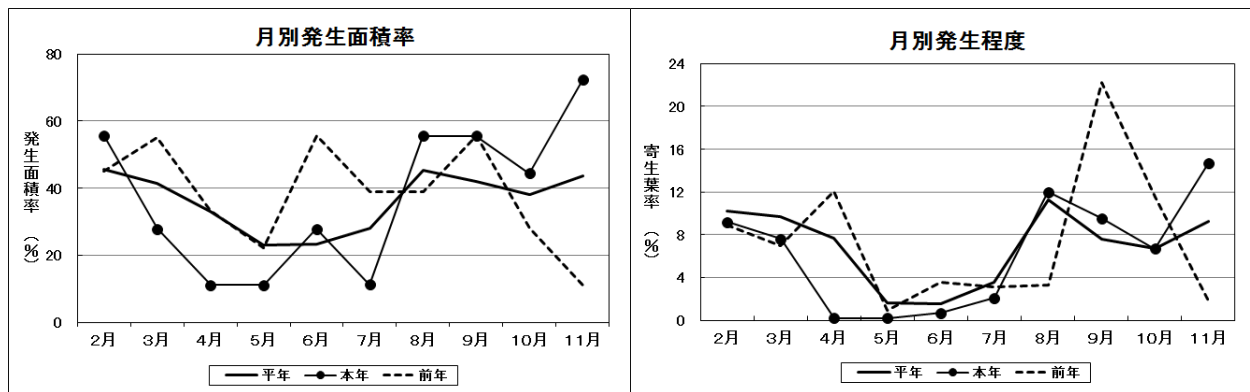


図1 ミカンハダニの発生状況

4 防除上の注意

- 1) 春先の寄生密度は、越冬密度に左右されるので、冬季にマシン油乳剤で防除を行い、越冬密度の低下をはかる。
- 2) 春先は、越冬虫を発生源としてスポット的に多発する可能性があるため、出来るだけ見落とさないよう観察する。
- 3) 一樹あたり寄生葉率が30%（葉当たり0.5～1頭）以上になると被害が発生するので、防除が遅れないようにする。
- 4) 葉の両面に寄生するので、薬剤がまんべんなくかかるよう丁寧に散布する。
- 5) 同一系統薬剤の連用は避け、異なる系統の薬剤でローテーション散布に努める。

5 その他

- 1) 農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。
- 2) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病虫害防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病虫害防除・肥料検査課
（病虫害防除・肥料検査センター） 若杉

TEL：0985-73-6670 FAX：0985-73-2127

E-mail：byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp